

広報広聴関係について

各種事業名	概要	開催場所	対象者	内容	教育委員会関係件数 (8月定例教育委員会 会議以降新たに市の ホームページに公開さ れたもの)
ドンドン語ろう!	市長が各区に出向き、まちづくりについて直接市民と対話する。	各区公民館ホール等	各区内にお住まいの方、勤務されている方	まちづくりについて〔市長〕意見交換(市長、出席者) (平成27年度開始)	0
市民の声	市民からのまちづくりについての意見や提案を市政に反映させる。	/	どなたでも	市民が、市民センターなどに置いてある緑の封筒で意見や提案を送る。	8
				市長への手紙の電子メール版。市民がファクスや電子メールにより意見や提案を送る。	

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
市民の声	1 H28 2月	<p>有機農産物の学校給食への参入について</p> <p>熊本市の学校給食については、JAの部会に入らないと一切参入できないと言われた。有機農家30人以上のグループ有機農産物直売所を通して参入したいのだが、参入は不可能だろうか。グリーン農業に協力をお願いする。</p>	<p>この度は学校給食へご協力の申し出をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本市では、学校給食は食育の「生きた教材」であることから、全ての子どもたちに可能な限り同一規格、同一品質の食材を使用した給食を提供する必要があると考えており、（公財）熊本市学校給食会を通じて、衛生基準や調達能力、配送能力を備えた登録業者から共同購入を行なっております。</p> <p>この中で青果物については、毎月2回の青果物査定会で安全性及び品質を確認した上で、登録業者である、熊本県学校給食納入協同組合に納品していただいております。</p> <p>同組合では、天候に左右されやすい青果物を、規格品質を揃え、年間を通して確実に市内6万人の子どもたちのもとに届けるため、全国の産地の市況把握や買い付け、JAやその生産部会と協力した契約栽培や作付け調整等、様々な取り組みによって市内全校分のロットを確保することにより計画的に調達されています。また、特別栽培農産物やエコファーマー農産物の導入を推進するなど安全性の確保に努めているところです。</p> <p>有機農産物は、食の安全という面から大変意義のあるものであると考えますが、全ての子どもたちへ同じ品質で安全安心な給食を安定的に供給していくためには、出荷ロットを揃えていただくことが必要となることをご理解いただきますようお願い申し上げます。</p>
市民の声	2 H28 2月	<p>図書館通帳について</p> <p>インターネットで、「図書館通帳」の記事をみて、熊本市の図書館でも利用できたら、借りるのが楽しくなるなと感じた。導入を検討してほしい。</p>	<p>図書館通帳は、近年注目されているサービスで、本館でも図書システムの改善の中で検討してきたところですが、導入コストなどの問題があり実施に至っておりません。</p> <p>現時点での導入予定はございませんが、今後とも全国の動向を参考に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、ホームページのMyライブラリーの中に本人自身が読んだ本や関心がある本などをご自分で記録していただける「本棚」を導入しております。</p> <p>図書館通帳のように記載していく楽しみ等はないかもしれませんが、本棚には書影（表紙）も残りますので、イメージも早く思い出せるのではと思います。</p>

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
市民の声	3 H28 3月	<p>副担任の配置について</p> <p>子どもの学級懇談会で、「クラス運営がうまくいかず、すみません。」と先生からお話があった。「クラスに、うまくコミュニケーションを取れない子どもがいて、トラブルを解消しようと間に入っているうちに、「ひいきしている。」と言われるようになり、クラス全体が話を聞いてくれなくなった。」そうである。</p> <p>何人かの保護者と話をしたが、その子どもには支援が必要である。コミュニケーション方法を学んだ副担任が必要と思われる。</p> <p>私の子どもも同じような思いをした。個人的に、コミュニケーションを学びに行った。学校ではうまくいかず、途中で転校し、保健室登校で卒業した。</p> <p>先程の話の続きだが、子どもに「でも、その子とクラスの他の子どもとの間に立ってくれる大人が必要だと思わないか。それが担任だからひいきだと思うのではないか。保健の先生や、教頭先生だったら、いた方が良くないか。」と聞いたら、「いてほしい。」と言った。子どもたちは、日常で支援の必要な子どもとのコミュニケーションを学ぶべきである。それを指導する先生が必要だ。</p> <p>担任の先生は、問題を解決しようと一所懸命である。先生たちを支援する専門員の配置をお願いする。</p>	<p>各学校においては、すべての子どもたちが、ともに理解し合い、支え合いながら、安心して楽しく過ごせるような学級づくりに取り組んでいます。</p> <p>しかし、担任だけでは対応が難しいケースもあり、そのような場合には、特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任等と連携することで、学校全体で必要な支援を行うことができるよう体制を整えているところです。</p> <p>教育委員会といたしましても、各学校における研修やケース会議等に専門家を派遣したり、学級支援員を配置したりするなどして、学校の組織的な対応をサポートしていきたいと考えております。</p> <p>今後とも、学校に関してお気づきのことがございましたら、学校または教育委員会へご相談いただきますようお願いいたします。</p>
	4 H28 3月	<p>中学校の新入生物品販売の日程について</p> <p>中学校の物品販売を、中学校説明会の時にあわせるか、卒業式の日の午後にしてもらえたら、仕事を何回も休まずにすみ、とても助かる。中学校に働きかけてもらえないだろうか。</p>	<p>新入生の物品販売については、各学校で指定物品や業者が異なっているため、各学校が複数の業者と日程調整等を行って実施しています。</p> <p>物品販売が、新入生保護者説明会当日または小学校の卒業式の午後にできないかということですが、どちらの日も中学校では授業があるため、「体育館は体育の授業で使用する。」「業者や保護者の車が入ってくると危険である。」などの理由で、多くの学校で物品販売は春休み中に行っています。</p> <p>物品販売日に来られない方は、土曜日や日曜日等（保護者の方のご都合が良い日）に直接お店に行かれて、購入いただくことができます。業者名や場所は、学校からお知らせプリントが出されています。</p> <p>何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p>

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
	5 H28 4月	<p>社会教育法第9条の2について</p> <p>「都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に社会教育主事を置く」と規定されているのに、市は、社会教育主事を市民局生涯学習課へ教育委員会から出向させ、辞令を出している。</p> <p>また、地方自治法第180条の8で社会教育は教育委員会の職務権限になっているのに、どのように事務を執っているのか。</p>	<p>まず、1点目の社会教育主事の配置についてですが、確かに教育委員会からの出向職員に併任という形で生涯学習課参事を命じておりますが、当該職員は、あくまで教育委員会事務局の職員であり、定数管理上も教育委員会の定数となっております。また、教育委員会事務局には、この職員以外にも社会教育主事が配置されておりますので、法的には特に問題ないと認識しております。</p> <p>2点目の社会教育の職務権限の所在についてですが、ご指摘のように、社会教育は教育委員会の職務権限となっております。</p> <p>そのため、社会教育を含めた生涯学習に関する事務の市長事務部局への移管にあたっては、地方自治法第180条の7の規定に基づく補助執行で行われており、市長事務部局の生涯学習課の職員が実務にあたるものの、権限は引き続き教育委員会に残っております。また、社会教育に関する一般方針の決定や条例の原案の決定、規則の制定改廃や審議会等の委員の委嘱など、重要な案件については、必ず教育委員会会議の議決を経て決定されており、関係法令に則り、適正に執行していると認識しております。</p> <p>今後とも、本市の社会教育の振興に、ご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。</p>
市民の声	6 H28 4月	<p>大江小学校の「おおえのき」について</p> <p>大エノキは、ごみではない。</p> <p>昭和28年6月26日の熊本を襲った大水害の時に、この大エノキのおかげで命が助かった。人助けをした木であり、ごみではない。</p> <p>今、どこにあるのか調べてほしい。</p>	<p>平成27年8月の台風15号により、大江小学校のシンボルツリーとして多くの方に親しまれてきた「おおえのき」は、根元から倒壊してしまいました。</p> <p>この出来事に、大江小学校の子どもたちや学校職員はもちろん、大江小学校の卒業生や地域の方など「おおえのき」とともに過ごしてこられた人たちは涙を流し、たくさんの方が参加してお別れ会が開催されました。</p> <p>現在、大江小学校では、この「おおえのき」を再生するために、エノキの切り株から新芽を育てるなどの「『おおえのき』100年プロジェクト」に取り組んでおります。</p> <p>また、倒れた木の活用について児童から「ストラップや机を作って残せないか」と提案があり、地域住民の皆様、保護者の方及び学校の会議で検討し、関係機関等の協力により実現することができました。現在、図書室で使う大小の机6台とストラップに、「おおえのき」が形をかえて命を残すことができている。ストラップは、児童一人一人ずつ記念に持ち、再生の取り組みに寄付をされた地域住民の皆様にも贈られました。</p> <p>これまで、多くの皆様方から様々なご支援をいただき、心から感謝申し上げます。多大なご心配をおかけしましたが、大江小学校の「命をつなぐ」取り組みに、ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p>

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
市民の声	7 H28 4月	<p style="text-align: center;">校区児童育成クラブの運営管理について</p> <p>私たちは、校区児童育成クラブの役員である。現在、平成28年4月1日から保護者会運営にて児童育成クラブを開所することになり準備を進めている。その上で、行政の対応が余りにもずさんで、役員は対応に追われて困っており、手紙を出すことにした。</p> <p>今回、校区児童育成クラブを立ち上げることとなった経緯は以下のとおりである。</p> <p>平成27年度まで校区は、保育園と保育園にて民営の学童保育を運営してきたが、両保育園より、数年前から学童保育の継続が難しいと市に相談されており、平成27年度で終了となった。そのことを保護者が知ったのは、平成27年12月27日に開催された行政からの説明であった。しかも、そのときは、まだ公営ですか民営ですか決定しておらず、既に決定しているものと思って説明を聞きに来た保護者が大半であった。</p> <p>校区には、延長利用（18時～19時）を希望する保護者が3割程度おり、説明後、行政から、役員が決まれば3割という少数意見の民営を後押ししますとの回答があった。</p> <p>再度の説明会にて、民営である保護者会運営に決定したが、そのときに、運営は初めてであることから、保護者（役員含む）から不安の声がたくさん上がった。それを受けて、行政は、受け皿は熊本市であり、何かあれば最終的には市が協力体制をとるとのことだったので、私たちは納得して役員を引き受けた。</p> <p>しかし、準備段階に入り、行政から私たちに状況把握の連絡もなく、私たちの方から尋ねないと対応していただけないことが続いた。民営に決まったのも1月であり、準備期間も短く、私たちも仕事をしながら時間を費やしたが、4月1日の開所までには万全な体制を整えることができなかったのが現状である。</p> <p>施設面も市の所有である集会所を改修して利用することとなったが、中身は全く整っておらず、運営委員から、安全面が全くなっていないと、次の指摘を受けた次第だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当施設は2階建だが、階段に手すりがない。 ・2階の踊り場の手すりから落ちる危険性あり。 ・2階の子どもたちが活動する部屋の手すりに角があるため、元気な子どもたちは頭を打ったときに怪我をする可能性あり。 ・階段途中の窓ガラスや2階踊り場の窓が割れたり子どもが乗り出せば転落する危険性あり。 <p>この4点について、担当課に伝えたが平成28年度の予算でまかなえるはずだと言われた。</p> <p>しかし、人件費で予算は足りないだろうと思われる状況だ。担当課に伝えてもすぐに対応してもらうことができず、市議に状況を伝えて、やっと課長と担当者が施設を見に来た。なぜ、市議にまで伝えないと動いてくれないのか。</p> <p>また、集会所を改修してあるものの、育成クラブで必要な児童の靴箱やランドセル棚などは全く設置していない状況である。</p> <p>課長は、施設を見に来たときに「ランドセルなどは、しばらく床に置いておくしかないでしょう。」と言われた。小学生の児童たちが、その辺に置いたものを失くさないという保障はあるのか。特に新1年生は、保育園を卒園したばかりで整理整頓などできない。紛失物が出るのは当然だ。</p> <p style="text-align: center;">（つづく）</p>	<p>このたびは市政運営に関する貴重なご意見を頂きありがとうございます。</p> <p>本来であれば早々のご返事を差し上げなければならないところでしたが、今回の震災を受け、その対応に追われ、このように遅くなりましたこととお詫び申し上げます。</p> <p>児童育成クラブ関係者の方々におかれましても多大なる被害を受けられたのではないかと拝察し、お見舞い申し上げます。本市といたしましても、一刻も早い復旧、復興に向けまして全力を注いでいるところでございます。</p> <p>さて、児童育成クラブの立ち上げに関しまして、保護者会の皆様のご尽力を頂きましたこと、改めてお礼申し上げます。そのような中、ご指摘にありましたような本市の対応に関しましては深くお詫びするところです。</p> <p>児童育成クラブは、施設は公設であり、施設に関する責任は当然市が持つものでございます。また、その運営に関しましても、適切かつ十分な支援を行っていくことは当然のことです。そして子どもたちの安心安全を確保することは、何よりも重要なことと認識しております。</p> <p>ご指摘のあった時期から現時点にいたるまでに、施設面に関しましては改善された部分もあると聞いております。今後も、子どもたちが育成クラブで安全で良好な環境の中で過ごすことができるように、できる限りの対応をとりたいと考えております。</p> <p>育成クラブ役員の方々をはじめ、関係者の皆様におかれましても、今後とも子どもたちの安心安全な居場所づくりのために、さらなるご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p>

各種事業名		開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
市民の声	7	H28 4月	<p>（つづき） そのように設備自体が整っていないのに、予算でしてくださいと言われても全く何もできないし、これが公営するのであれば、きちんと整備されていたのが、それも疑問である。 無責任な行政の行動に私たちは騙された気持ちでいっぱいだ。私たちは、子供を預ける以上、安全な場所、安全な環境を求めている。子育て支援向上を掲げている熊本市の対応とはとても思えない。保護者の声が全く担当課に届かないことがとても残念でならない。 どうか 校区児童育成クラブが、よりよいものになるよう、願います。</p>	
市民の声	8	H28 4月	<p>中学校の学習再開と夏季のエアコン設置について</p> <p>中学3年生の子をもつ親である。今回の地震で学校の再開が大幅に遅れている状況下で、夏休みが短くなり猛暑の中の授業が行われるかと思う。夏季時の学習参観に行ったとき、「この猛暑の中、よく子ども達は、学習しているな」と思っていた。 正直あの猛暑の中、勉強をしても何割の成果になるのか疑問がある。適温のなかで授業ができるように、教室にエアコン設置を切に願います。全学年が無理ならば、受験生である3学年の教室だけでもお願いしたい。 地震後の大変な時期かと思うが、検討してほしい。</p>	<p>小中学校のエアコン設置につきましては、子ども達が学習に集中できるような環境整備を推進するため、順次、全校の普通教室にエアコンを設置することにしています。 その実現に向けて、まずは中学校から取り組むこととし、平成27年度には中学校の設計を終了し、28年度に設置のための工事を行う予定で進めていたところです。 しかしながら、今回、本市で発生した地震により、学校施設が甚大な被害にあい、現在、その復旧作業を優先に進めている状況であり、エアコンの設置につきましては、復旧作業の進捗状況と国の補正予算の動向を見極めながら検討している状況です。 梅雨から夏場に向けて教室の環境が児童生徒にとって好ましくないことは十分に認識しておりますことから、エアコンの設置に向けまして努力してまいりますので、どうかご理解いただきますようお願いいたします。</p>